

いざという時、本当に助けとなるのは
ご近所（助）の助け合いです。

平成 27 年 3 月 15 日
せんげん支隊 情報・広報班

小川自治会自主防災隊が発足して丸 2 年が経ちました。この間、全国的には地震、大雨による土砂災害、火山の噴火など、多くの災害が起きました。多くの方が尊い命を落としました。幸い小川地区では大きな災害もなく、比較的平穏な 2 年間であったと思います。しかし天災はいつ起きるか誰にも分かりません。首都直下地震もいつ起きてもおかしくない、といわれています。こんな時こそ災害への備えを怠らないようにしましょう。

1 2月の活動報告

- ① 2月14日（土）第11回支隊長会議
- ② 2月15日（日）支隊便り第20号発行
- ③ 2月1日（日）～2月28日（土）27年度組織編成作業

2 3月、4月の活動計画（本部計画も含む）

- ① 3月1日（日）町田南地区防災講演会
- ② 3月14日（土）第12回支隊長会議（新旧合同支隊長会議）
- ③ 3月15日（日）支隊便り第21号発行
- ④ 3月29日（日）第6回隊長・支隊長会議
- ⑤ 4月26日（日）27年度小川自主防災隊責任者全体会議



3 2015年度せんげん支隊組織編成について

2015年度せんげん支隊の組織編成については、支隊長、班長についてほぼ終了しました。支隊長は5人のうち3人が入れ替わります。また、班長は各専門班に2人を配置することとなりました。支隊長・班長・隊員全ての名簿は次号支隊便りにてお知らせします。支隊長、班長を含め、新たにお引き受けいただいた皆様には心より御礼申し上げます。

4 火災の原因として一番多いストーブは？（広報「とうきょう消防」より）

皆さんは石油ストーブ、ガスストーブ、電気ストーブの3つの中で、最も火災の危険性が高いのはどれだと思いますか。アンケートでは石油ストーブ、ガスストーブ、電気ストーブの順でした。

しかし、実際に多くの火災の原因となったのは電気ストーブです。電気ストーブはストーブ火災の7割以上を占めています。（71.9%）（石油ストーブ 21, 9%、ガスストーブ 7.9%）電気ストーブは手軽で安全に見えますが、誤った扱いをすると大変危険です。特に寝具類や衣類、洗濯物などが接触して出火するケースが多いのが特徴です。火災を防ぐポイントを再確認して尊い命を守りましょう。

*電気ストーブによる火災を防ぐ三つのポイント

- ① 電気ストーブの周りには布団、新聞・雑誌、衣類などの可燃物を置かない！
- ② 寝るとき、離れるときはスイッチを切る習慣を！布団がストーブに接触する恐れがあります。
- ③ 電源プラグや電源コードの清掃・点検をこまめにしよう！

5 あなたの家の防災度チェック（2）（チェックの入らなかった箇所は見直そう）

- | | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> ブロック塀は補強している。 | <input type="checkbox"/> 家具の上には重いものなどを積んでいない。 |
| <input type="checkbox"/> 収納は重いものを下に置いている。 | <input type="checkbox"/> 災害時の家族の役割分担を決めている。 |
| <input type="checkbox"/> 家族の集合場所を決めている。 | <input type="checkbox"/> 家族が離れ離れになった時、連絡を取り合う方法を決めている。 |
| <input type="checkbox"/> 防災グッズを備えている。 | <input type="checkbox"/> 防災グッズの置き場所を家族全員が知っている。 |
| <input type="checkbox"/> 寝室には靴が用意してある。 | <input type="checkbox"/> 日頃から新聞、テレビ、ネットなどで防災の知識を得ている。 |